

ネットワーク接続、ドロップ、およびCRCエラーのトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[不良フレームとCRCエラーの原因](#)

[転送モードの動作 \(カットスルーまたはストアアンドフォワード \)](#)

[UCS FI、IOM、およびVICカードの主要な転送ASICコマンド](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、異なるUCS、FI、IOM、およびVICアダプタでのネットワーク接続、ドロップ、およびCRCエラーのトラブルシューティングに使用するコマンドについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントでは、次の項目に関する知識があることを前提としています。

- Cisco Unified Computing System(UCS)仮想インターフェイスカード(VIC)
- Cisco UCS BシリーズおよびCシリーズサーバ
- Cisco UCSファブリックエクステンダI/Oモジュール(IOM)
- Cisco UCSファブリックインターコネクタ(FI)
- Cisco Unified Computing System Manager(UCSM)
- Cisco Unified Computing System Manager(UCSM)コマンドラインインターフェイス(CLI)
- Intersight管理モード(IMM)
- カットスルーおよびストアアンドフォワードスイッチ
- ストンプ

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco UCS Managerバージョン2.x以降
- Cisco UCS 6200、6300、6400、および6500シリーズファブリックインターコネクタ
- Cisco UCS 2200、2300、および2400シリーズファブリックエクステンダI/Oモジュール

- Cisco UCS 1200、1300、1400、および1500シリーズ仮想インターフェイスカード(VIC)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

Cisco UCSファブリックインターコネクトは、Cisco Nexus 5000シリーズスイッチのようなカットスルースイッチです。不良フレームを正常なフレームと同様に転送する不正なフレームは、宛先サーバによって、またはカットスルーされていないネットワーク機器を通過するときに廃棄されます。CRCチェックはフレームの最後に実行され、フレームが破損したかどうかを判断します。一部のスイッチでは、フレームの破損を検出すると、そのフレームを廃棄できます。カットスルースイッチでは、CRCチェックを実行する前に転送の決定が行われます。これらのフレームで障害が発生しても、カットスルースイッチでCRCチェックをスイッチングできます。N7Kなどの他のスイッチは、ストアアンドフォワードスイッチです。ストアアンドフォワードスイッチは、転送の決定を行う前にフレーム全体を確認します。ストアアンドフォワードスイッチは、CRCチェックに失敗したフレームをドロップします。トポロジ内のスイッチのアーキテクチャ(カットスルーとストアアンドフォワード)を理解することが不可欠です。多くの場合、CRCエラーの原因に戻る必要があります。カットスルースイッチとストアアンドフォワードスイッチの詳細については、[クラウドネットワーキングスイッチ](#)の記事を参照してください。

注: インターフェイスでCRCエラーが発生しても、インターフェイスが問題の発生源であるとは限りません。

不良フレームとCRCエラーの原因

不良フレームとCRCエラーが発生する原因には、次のものがあります。

- 物理的な接続の不良。トランシーバ、銅線、ファイバ、アダプタ、ポートエキスパンダなど。
- MTU違反
- 隣接するカットスルースイッチから不正なCRCストンプを受信しました。

転送モードの動作(カットスルーまたはストアアンドフォワード)

UCSファブリックインターコネクト(Nexus 5000と同様)は、カットスルースイッチングとストアアンドフォワードスイッチングの両方を使用します。フォワーディングモードは、表1に示すように、入力および出力データレートによって異なります。


 注: カットスルースイッチングを実行できるのは、入力データレートが出力データレートと同等かそれ以上の場合だけです。

表1:UCSファブリックインターコネク트의転送モードの動作 (カットスルーまたはストアアンドフォワード)

入力/送信元インターフェイス	出力/宛先インターフェイス	転送モード
10ギガビットイーサネット	10ギガビットイーサネット	カットスルー
10ギガビットイーサネット	1ギガビットイーサネット	カットスルー
1ギガビットイーサネット	1ギガビットイーサネット	ストアアンドフォワード
1ギガビットイーサネット	10ギガビットイーサネット	ストアアンドフォワード
10ギガビットイーサネット	40ギガビットイーサネット	ストアアンドフォワード
40ギガビットイーサネット	10ギガビットイーサネット	カットスルー
40ギガビットイーサネット	40ギガビットイーサネット	カットスルー
40ギガビットイーサネット	100ギガビットイーサネット	ストアアンドフォワード
100ギガビットイーサネット	40ギガビットイーサネット	カットスルー
100ギガビットイーサネット	100ギガビットイーサネット	カットスルー
FCoE	ファイバ チャンネル	カットスルー
ファイバ チャンネル	FCoE	ストアアンドフォワード
ファイバ チャンネル	ファイバ チャンネル	ストアアンドフォワード
FCoE	FCoE	カットスルー

UCS FI、IOM、およびVICカードの主要な転送ASICコマンド

表2と表3は、ドロップの発生元とドロップの発生原因を特定するために、UCSのさまざまな管理エンドポイントから実行できるさまざまなコマンドを示しています。

表2で説明したASIC固有のコマンドに加え、これらのコマンドをUCS FI NXOSシェルから実行して、インターフェイスの受信方向のエラーを検索できます。

show interface counters errors (インターフェイスカウンタの表示エラー)

表2:UCS FIおよびIOMの主な転送ASICコマンド

UCS FI/IOM	メインFW ASIC名	コマンド	目的
Cisco UCS ファブリック インターコネクト			
Cisco UCS 6200シリーズ(Gen 2 FI 62xx)	カーメル	(nxos)# show hardware internal carmel (ハードウェア内部carmelを表示)	このコマンドは、Carmel ASICの内部情報とドライバ情報を表示します。5番目の列は、各Carmel ASICにマップされているポート/インターフェイスの数を示します。
		(nxos)# show hardware internal carmel all-ports	このコマンドでは、すべてのポートおよび前面パネルの物理ポートからASICへのマッピングに関するドライバ情報が表示されます。
		(nxos)# show hardware internal carmel crc	このコマンドは、フレームがCRCエラーで受信または送信されたか、すべてのポートに対してストップされたかなどの情報を表示します。
		(nxos)# show platform fwm info asic-errors X	このコマンドは、ゼロ以外のCarmelドロ

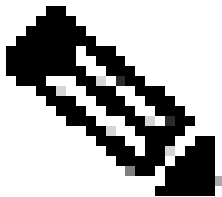
			<p>アップ理由エラーレジスタを表示します (Xは0 ~ 4のCarmel ASIC番号)。</p>
		<pre>(nxos)# show platform fwm info pif e1/X grep ASIC(ASIC)</pre>	<p>このコマンドを使用すると、インターフェイスをCarmel ASIC ID「global_asic_num」(Xはインターフェイス番号) にマッピングできます。</p>
		<pre>(nxos)# show platform fwm info pif e1/X grep ドロップ</pre>	<p>このコマンドは、フレーム数を表示し、特定のインターフェイス (Xはインターフェイス番号) のドロップカウンタをフィルタリングします。</p>
		<pre>(nxos)# show hardware internal carmel all-ports detail egrep -i "Carmelポ ート crc frame_error"</pre>	<p>このコマンドは、すべてのポートのCRCおよびフレームエラーカウンタをフィルタリングします。</p>
Cisco UCS 6300シリーズ(Gen 3 FI 63xx)	Trident2(Broadcom ASIC)	<pre>(nxos)# show hardware internal bcm-usd info port- info</pre>	<p>このコマンドは、各物理ポートとBroadcom ASICの前面ポートの間のマッピングを示します。このマッピングは6332と6332-16UP FIでは異なります。</p>
		<pre>(nxos)# show hard internal interface indiscard-stats front-port X</pre>	<p>このコマンドは、前のコマンドを使用してマッピングが行われた後の、Broadcom ASICの特定の前面ポ</p>

			<p>ートのポート内部廃棄カウンタを表示します。</p>
<p>Cisco UCS Mini (6324フ アブリックイ ンターコネク ト)</p>	<p>モンティセロASIC</p>	<p>(nxos)# show hardware internal mtc-usd port-status</p>	<p>このコマンドは、 Monticello ASICのポ ートのステータスを 表示します。</p> <p>(nxos)# show hardware internal inband-mtc ?</p> <p>ASICは Monticello ASIC情報 を示します</p> <p>info.Monticelloインバ ンドドライバ情報の 表示</p> <p>統計。 Monticelloインバンド ドライバの統計情報 を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • UCS Mini内のブ レードのKRマッ ピングでは、 UCS IOMを搭載 したシャーシと は異なるポート マッピングが使 用されることに 注意してくださ い。詳細につい ては、TACを参 照してください 。
<p>Cisco UCS 6400 (第4世 代FI 64xx)</p>	<p>ホームウッドASIC</p>	<p>FI番号connect nxos (nx-os)# show hardware internal interface asic counters module 1</p>	<p>このコマンドは、イ ンターフェイスで報 告された場合の転送 ドロップの理由を示 します。</p>

		<p>FI番号アタッチモジュール1 module-1# show hardware internal tah counters asic 0</p>	<p>このコマンドは、ASICライブラリを使用するさまざまな情報カウンタを表示します。</p> <p>このUCSファブリックインターコネクトモデル内にはASICが1つしかないため、常にASIC番号は0です。</p>
		<p>FI番号アタッチモジュール1 module-1# show hardware internal tah drop-reason counters module 0</p>	<p>このコマンドは、ドロップの理由とドロップされたパケットの数を表示します。</p>
Cisco UCS 64108第4世代FI	Cisco ASICヘブナー	<p>FI番号connect nxos (nx-os)# show hardware internal interface asic counters module 1</p>	<p>このコマンドは、インターフェイスで報告された場合の転送ドロップの理由を示します</p>
		<p>(nxos) #モジュール1の接続 module-1# show hardware internal tah counters asic 0</p>	<p>このコマンドは、ASICライブラリを使用するさまざまな情報カウンタを表示します。</p> <p>このUCSファブリックインターコネクトモデル内にはASICが1つしかないため、常にASIC番号は0です。</p>
		<p>FI番号アタッチモジュール1 module-1# show hardware internal tah drop-reason counters module 0</p>	<p>このコマンドは、インターフェイスで報告された場合の転送ドロップの理由を示します。</p>
Cisco UCS 6500第5世代	Cisco ASICヘブナー	<p>FI番号connect nxos</p>	<p>このコマンドは、インターフェイスで報</p>

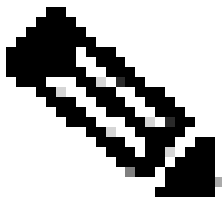
FI		(nx-os)# show hardware internal interface asic counters module 1	告された場合の転送 ドロップの理由を示 します
		(nxos) # show hardware internal errors module 1 (ハ ードウェア内部エラーモジ ュール1を表示)	このコマンドは、ポ ート上のモジュール に対する出力ドロッ プパケットを表示し ます。
		(nxos) #モジュール1の接続 module-1# show hardware internal tah counters asic 0 FI番号アタッチモジュール1 module-1# show hardware internal tah drop-reason counters module 0	このコマンドは、 ASICライブラリを使 用するさまざまな情 報カウンタを表示し ます。 2番目のコマンドは、 ドロップの理由とド ロップされたパケッ トの数を表示します 。 ³

Cisco UCSファブリックエクステンダI/Oモジュール(IOM)

Cisco UCS 2200 IOM (第2世 代)	ウッドサイド	FI # connect IOM <シャーシ ID> fex-1# show platform software woodside sts (ゲ ートキーパーで実行)	このコマンドは、 Woodside ASIC内の HIFおよびNIFのイン ターフェイスステー タスと、各ブレード で使用されている HIFを表示します。
			 <p>注：HIFには 2つの番号が あり、1つは IOMから</p>

			<p>(IOMに接続した後に) トラブルシューティングを行う際に使用し、もう1つは同じHIFをトラブルシューティングして UCSM NX からコマンドを実行する際に使用します。</p>
			<p>たとえば、ブレード 1はHIF番号28 ~ 31を使用します。IOMに接続し、そのHIFに関連するコマンドを実行した後は、これらの番号を使用できます。これらは、示されている FEXの詳細に従って、UCSM NXOSの Eth1/1/1 ~ 4に対応します。</p>
		<pre>FI # connect IOM <シャーシID> fex-1# show platform software woodside rate</pre>	<p>このコマンドは、アクティブなHIFまたはNIFポートのレートを表示します。</p>
		<pre>FI # connect IOM <シャーシID> fex-1# show platform software woodside rmon 0 [Nix/Hix]</pre> <p>たとえば、次のように、す</p>	<p>このコマンドは、特定のHIFまたはNIFと、ユニキャスト、ブロードキャスト、マルチキャストなどのパケットタイプについて、受信および送</p>

		<p>すべてのNIFに対してgrepを使用して一部のエラーカウンタをフィルタリングできます。</p> <pre>fex-1# show platform software woodside rmon 0 nif_all (ハードウェアおよびソフトウェアのバージョンを表示) egrep -i</pre>	<p>信されたパケットサイズを表示します。Diff列はライブトラブルシューティングの実行時に便利です。この列はコマンドを再実行するたびにリセットされ、コマンドを再実行したときにパケットが増加しているかどうかを示します。Diff列で次の新しいパケットが表示されているかどうかを確認できます。</p> <p>RX_CRC_NOT_ストンプ RX_CRC_STOMPED</p> <p>TX_FRM_エラー</p>
		<pre>FI # connect IOM <シャーシID></pre> <pre>fex-1# show platform software woodside drops 0 [Nix/HIx]</pre>	<p>このコマンドは、特定のNIFまたはHIFのドロップカウンタを表示します。</p>
		<pre>FI # connect IOM <シャーシID></pre> <pre>fex-1# show platform software woodside oper</pre>	<p>このコマンドは、NIF内で検出されたSFPに加えて、管理制御、MAC、および物理ステータスを表示します。</p>
		<pre>FI # connect iom <シャーシID></pre> <pre>fex-1# show platform software woodside sfp 0 ni0 fex-1# show platform software woodside sfp 0 ni1 fex-1# show platform</pre>	<p>このコマンドは、Woodside IOM NIFポート内のトランシーバの詳細を表示します。</p>

		software woodside sfp 0 ni2 fex-1# show platform software woodside sfp 0 ni3	
Cisco UCS 2300 IOM (第3世 代) と Cisco UCS 2300 IOMバ ージョン 2(UCS-IOM- 2304V2)	Tiburon(Broadcom ASIC)	# connect IOM <シャーシ ID> Fex-1# show platform software tiburon sts (使用可 能な場合)	<p>このコマンドは、Tiburun ASIC内のHIFとNIFのインターフェイスステータスと、各ブレードで使用されているHIFを表示します。</p> <p>Tiburun ASICは48個のHIFポートがある2248 FEXから発信されるため、UCSではASIC上に未使用のポート (NI0-7とHI0-9は未使用) がいくつかあります。</p>
		# connect IOM <シャーシ ID>	 <p>注：第3世代 IOM内の 40Gバックプレーンポートについては、通常、HIFステータスは40 GigプライマリレポートをUPとして、40 GigメンバーポートをDOWNとしてマークします。</p>
		# connect IOM <シャーシ ID>	このコマンドは、アクティブなHIFまたは

		<pre>fex-1# show platform software tiburon rate</pre>	<p>NIFポートのパケットレートを表示します。</p>
		<pre>FI # connect IOM <シャーシID> fex-1# show platform software tiburon rmon 0 [Nlx/Hlx]</pre> <p>たとえば、次に示すように、すべてのNIFに対してgrepを使用して一部のエラーカウンタをフィルタリングできます。</p> <pre>fex-1# show platform software tiburon rmon 0 nif_all (使用可能な場合) egrep -i 'crc ni stomp pause err'</pre>	<p>このコマンドは、特定のHIFまたはNIFと、ユニキャスト、ブロードキャスト、マルチキャストなどのパケットタイプについて、受信および送信されたパケットサイズを表示します。Diffカラムはライブトラブルシューティングを行っている間に便利です。このカラムはコマンドを実行するたびにリセットされ、コマンドを再度実行したときに新しいパケットが着信しているかどうかが表示されます。Diff列で次の新しいパケットが表示されているかどうかを確認できます。</p> <p>RX_CRC_NOT_ストップ RX_CRC_STOMPED TX_FRM_エラー</p>
<p>Cisco UCS 2408 (第4世代I/Oモジュール) 「サマービル」UCS-IOM-2408</p>	<p>サンダウン</p>	<pre>FI # connect iom <シャーシID> fex-1# show hardware internal tah sts (ハードウェア内部トラフィックストアの表示)</pre>	<p>このコマンドは、Tahoe ASIC内のHIFおよびNIFのインターフェイスステータスと、各ブレードで使用されているHIFを表示します。</p>
		<pre>fex-1#ハードウェア内部テ</pre>	<p>このコマンドは、</p>

		ストの詳細を表示する	NXOSからHIFへのポートマッピング、リンクステート、および動作速度を表示します。
		fex-1# show hardware internal tah counters asic 0 nxos-port ? <0-44> Nxeポート番号0-31 hif/35 bif/36-43 nif	このコマンドは、ポートごとの詳細なカウンタを表示します 詳細なインターフェイスカウンタは、NXOSポート番号を参照することで確認できます。 NXOSポート0 ~ 31は32個のHIFポートに対応 NXOSポート36 ~ 43は、8つのNIFポートに対応します。

1 Cisco UCS 6200シリーズファブリックインターコネクタの販売終了およびサポート終了のお知らせ : [Cisco UCS 6200シリーズファブリックインターコネクタ](#)

Cisco UCS 2100シリーズIOモジュールに関する2つの販売終了およびサポート終了のお知らせ : [Cisco UCS 2200シリーズIOモジュール](#)

3 show hardware internal carmel crcコマンドの一部の列のモードの詳細 :

- MM rx CRC = CRC (このリンク上)、問題はL1の問題、アイハイトの確認、シャットダウン、シャットダウンなし、ケーブルの交換、
- MM Rx Stomp = リモートスイッチのSTOMP。このリンクのスイッチで同じ出力を確認してください。
- FI Rx Stomp = MM Rx CRCおよびMM Rx Stompが空白の場合、L2/ポリシー違反 (最も一般的なMTU違反)、QoS MTU設定の確認。

4場合によっては、FI 6400/6500のポートマッピングを確認するために、接続モジュールが機能しません。この問題を解決するには、Cisco TACエンジニアにお問い合わせください。

表3: Cisco UCS VICカードの接続、ドロップ、およびCRCエラーをトラブルシューティングする主なコマンド

UCS VIC世代	VICカードモデルの例	コマンド	目的
-----------	-------------	------	----

<p>Cisco UCS 1200 VIC (第2世代)</p>	<p>たとえば、1225 VIC、 1240 VIC、1280 VICな どです</p>	<p>ブレードの例 FI#接続アダプタ1/1/1 アダプタ1/1/1 #接続 アダプタ1/1/1 (上) :1# show-log</p>	<p>これらのコマンドは、 Cisco UCS BまたはCシ リーズサーバのアダプ タに接続した後で実行 できます。</p>
<p>Cisco UCS 1300 VIC (第3世代)</p>	<p>たとえば、1380 VICな どです</p>	<p>アダプタ1/1/1 (上) :1# attach-mcp アダプタ(mcp):1# uifportstatus アダプタ(mcp):3# dcem-macstats 0 <<<<ポート1の統計情 報 アダプタ(mcp):3# dcem-macstats 1 <<<<ポート2の統計情 報 アダプタ1/1/1(mcp):1# vnic アダプタ1/1/1(mcp):1# lifstats スタンドアロンCシリ ーズUCSの場合： #スコープシャーシ /chassis # show adapter (PCIeスロッ ト番号を取得) /chassis # connect debug-shell <PCIe slot #> (このコマンドは、 サーバの電源がオンの 場合にのみ動作します) アダプタ (上) :1# attach-mcp</p>	<p>macstatsコマンドは、 物理ポートの状態、パ ケットサイズ、および 受信したストンプ済み フレームまたはストン プされていないフレー ムの有無に関する情報 を提供します。</p>

		アダプタ(mcp):1# uifportstatus	
Cisco UCS 1400 VIC (第4世代)	次に例を示します。 (VIC1440): M5ブレード用PCIeベースmLOMカード(UCSB-MLOM-40G-04) ・ (VIC1480): M5ブレード用PCIeベースのメザニンカード(UCSB-VIC-M84-4P) ・ (VIC1455): M5ラックサーバ用PCIeカード(UCSC-PCIE-C25Q-04) ・ (VIC1457): M5ラックサーバ用PCIeベースmLOMカード(UCSC-MLOM-C25Q-04)	アダプタ(mcp):1# uifportstatus - PCIeリンクステータスの確認 アダプタ (上) :1# attach-mcp アダプタ(mcp):1# pcie_links pp,ppsタイプlink config link status state 0,0ホストgen3x16 gen3x16上 アダプタ(mcp):2#終了 - イーサネットリンクのステータスをチェックする アダプタ (上) :2# attach-mcp アダプタ(mcp):1# uifportstatus ASICポート UIFポート状態速度 0 0アップ25G 0 1アップ25G 1 0アップ25G 1 1アップ25G アダプタ(mcp):2#終了 - イーサネットのエラーカウンタの確認 アダプタ (上) :3# attach-macd	これらのコマンドは、第4世代VICアダプタを使用して導入されたCisco UCS BまたはCシリーズサーバのアダプタに接続した後で実行できます。

		<p>アダプタ(macd):1# macstats 0</p> <p>デルタ合計の 説明</p> <p>112 112 Rx正常パケット</p> <p>112 112 Rx受信合計パケット</p> <p>14574 14574 Rxバイト (正常なパケ ット用)</p> <p>14574 14574 Rxバイト</p> <p>104 104 Rxマルチキャストフレ ーム</p> <p><中略></p>	
<p>Cisco UCS 1500 VIC (第5世代)</p>	<p>次に例を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (VIC15231): X210用PCIeベース mLOMカード(UCSX- ML-V5D200G) • (VIC15420): X210C M6/M7用PCIeベ ースのmLOMカード (UCSX-ML-V5Q50G) • (VIC15422): X210C M6/M7用PCIeベ ースのメザニンカード (UCSX-ME-V5Q50G) • (VIC15428): M6/M7ラックサーバ用 PCIeベースのmLOMカ 	<p>ブレードの例</p> <p>FI#接続アダプタ1/1/1 アダプタ1/1/1 #接続 アダプタ1/1/1 (上):1#</p> <p>スタンドアロンCシリ ーズUCSの場合： #スコープシャーシ</p> <p>/chassis # show adapter (PCIeスロッ ト番号を取得)</p> <p>/chassis # connect debug-shell <PCIe slot #> (このコマンドは、 サーバの電源がオンの 場合にのみ動作します)</p>	<p>これらのコマンドは、 第5世代VICアダプタを 使用して導入された Cisco UCS BまたはCシ リーズサーバのアダプ タに接続した後で実行 できます。</p>

	<p>ード(UCSC-M-V5Q50G)</p> <ul style="list-style-type: none"> (VIC15238): <p>M6/M7ラックサーバ用 PCIeベースのmLOMカード(UCSC-M-V5D200G)</p> <ul style="list-style-type: none"> (VIC15411): <p>BシリーズM6用PCIeベースmLOMカード(UCSB-ML-V5Q10G)</p> <ul style="list-style-type: none"> (VIC15235): <p>M6/M7ラックサーバ用 PCIeカード(UCSC-P-V5Q50G)</p> <ul style="list-style-type: none"> (VIC15425): <p>M6/M7ラックサーバ用 PCIeカード(UCSC-P-V5Q50G)</p>	<p>- PCIeリンクステータスの確認</p> <p>アダプタ (上) :1# attach-mcp</p> <p>アダプタ(mcp):1# pcie_links</p> <p>アダプタ(mcp):1#終了</p> <p>- イーサネットリンクのステータスをチェックする</p> <p>アダプタ (上) :1# attach-mcp</p> <p>アダプタ(mcp):1# uifportstatus</p> <p>アダプタ(mcp):1#終了</p> <p>- イーサネットのエラーカウンタの確認</p> <p>アダプタ (上) :1# attach-macd</p> <p>アダプタ(macd):1# macstats 0</p>	
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)
- [CRCエラーが発生した場合に2348 FEXのリロードメカニズムが必要](#)
- [Cisco UCS Manager CLIユーザガイドリスト](#)
- [UCS Bシリーズブレードサーバ6200スペックシート](#)
- [UCS Bシリーズブレードサーバ6332スペックシート](#)
- [UCS Bシリーズブレードサーバ6454スペックシート](#)
- [UCS Bシリーズブレードサーバ6536スペックシート](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。